

事業所名

放課後等デイサービス つくしんぼ

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念	一人一人を大切に作る施設、笑顔溢れる施設、地域に愛される施設 私たちは一人ひとりの尊厳を守り、自分らしさを実現できるよう、利用者本位のサービスを行い、自立を支援します。また、地域ネットワークの一員としてみんなが笑顔で生き生きと過ごせるよう、福祉のまちづくりに貢献します。						
支援方針	「つくろう しんじあえる ぼくらのくに」を目指します。 子どもの想いを尊重し、子どもの自発的な動き、やろうとする気持ちを大切にし、どんな発言も一旦受け止めます。 職員は出来た時に子どもと一緒に喜び、困難な時は子どもと一緒に考え、結果よりも過程や経験を大切にします。						
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	交通安全教室（道路の横断の仕方、送迎車への乗車・下車時の注意点、車内でのマナー）、情報モラル教室（SNSとの付き合い方） 散歩、施設外活動（戸外でのルールを守る、現地での安全な行動の仕方、安全な移動の方法、挨拶をする、体を動かし鍛える） クッキング、外食（食に対する興味を持つ、調理器具を正しく使える、協力して行う、旬の食材を知る、簡単な調理ができる、選択肢の中から選べる、食事のマナーを学ぶ） 畑作業（旬の野菜を知る、野菜の成長を知り、適切に管理できる、収穫の楽しさを知る）					
	運動・感覚	音楽療法（様々な楽器に触れ興味を持つ、リズムに乗り身体感覚を養う、自己表現の場を持つ、コミュニケーションの手段を引き出す、静と動、始まりと終わりのメリハリを感じる） サーキット（体幹を鍛える、粗大運動やいろいろな体の動かし方を知る、ボディイメージの獲得、力加減を知る、ルールを守ることができる、協力して行う） 制作活動、ワークショップ、芸術士活動（様々な素材や感触に触れる、いろいろな道具を適切に使える、手先の操作性の向上、自己表現や模倣ができる、見立て遊びができる） ビジョントレーニング（目の動かし方が向上する、目と手の協応）					
	認知・行動	はじまりの会・おわりの会（始めと終わりで区切りをつけ切り替えができる、話を聞くことができる、見通しを付ける、発言をする機会を作る） ソーシャルスキルトレーニング（気持ちのコントロール、力加減を知る、自己理解、事柄を説明できる）					
	言語 コミュニケーション	こども会議・活動の振り返り（自分の意見を言える、人の話を聴くことができる、意見の違いに対して折り合いをつけることができる、いろいろな意見があることを知る、提案したことが実現する楽しさを知る、体験を振り返り次の成功体験に繋がられる） 絵本の読み聞かせ、言葉遊び、カードゲーム（話の内容を理解する、いろいろな言葉を知り適切に使えるようになる、ひらがな、カタカナ、漢字に親しむ）					
	人間関係 社会性	企画タイム（提案したことが実現する楽しさを知る、必要なものを準備できる、ルールの説明や進行ができる） ソーシャルスキルトレーニング（パーソナルスペース、プライベートゾーンを知る、人との適切な関わり方を知る、困った時にヘルプを出せる） ルールのあるゲーム、レクリエーション（ルールを守る、負けの受け入れ、他児と遊ぶことを楽しむ、余暇活動を増やす） 季節の行事（季節感を感じる、他児と協力して行う楽しさを知る、自分の仕事に責任を持つ、地域の方と触れ合う） 買い物活動（お金の感覚を身に付ける、必要なものや量を考えて買うことができる、レジでのやり取りができる、お店でのマナーを守る） おしごとの日（決められた仕事を遂行することができる、報告・相談ができる）					
家族支援	保護者面談（随時） 関係機関との連携 保護者向けの研修会、交流会の実施、行事参加の案内 等	移行支援		ライフステージの切替を見据えた社会生活体験や就労体験 就労先との情報共有			
地域支援・地域連携	他の事業所との交流及び情報交換会 地域連携会議への参加 ボランティアの受け入れ	職員の質の向上		外部研修の参加 事業所内での研修実施（月1回）			
主な行事等	各季節イベント行事、誕生日会、遠足、夏祭り						